NEWS RELEASE

KEIO PLAZA HOTEL TOKYO

２０１９年1月２３日

京王プラザホテル　ニュースリリース

京王プラザホテル　フィーチャー100
～おもてなしの裏側にある、ちょっといい話～

京王プラザホテル（東京：西新宿、社長：山本護）は、2021 年に開業 50 周年を迎えます。そこで、世界各国からお客様をお迎えし、心に寄り添うサービスを提供するホテルとして私たちのおもてなしに秘められたエピソードを 100 回シリーズでお届けしてまいります。

■VOL. 43　縁起の良い「夫婦柱」のある宴会場〈花〉

宴会場＜花の間＞

大輪の花をモチーフにしたシャンデリアから降り注ぐ柔らかな光と、落ち着きのあるエレガントな空間が和装も洋装も引き立てる華やかな披露宴会場として人気を呼ぶ本館 4 階の宴会場〈花〉。ホテル開業時からご愛顧をいただくこの「花の間」にいつの頃からか「夫婦柱」と呼ばれる柱があるのをご存知ですか？

宴会場の中に柱があるのは珍しく数々の披露宴でご利用いただくうちに会場のほぼ中央で空間をしっかりと支える様子があたかも人生を支え合う新郎新婦に重なり、スタッフの間の愛称として「夫婦柱」という呼び名が定着しました。2003 年の改装ではこの柱に LED（光）を埋め込み内装のアクセントとして強調するようになり、今ではお客様にも縁起の良いエピソードとして、その相性が広まって会場選びをされる際の決め手のひとつになることも。

昨今はお招きするゲストへのおもてなしを重視されるカップルが多いなか、ご披露宴の会場も自分たちらしさが表現できる機能やイメージを持ち合わせているかどうかを検討されるお客様が増えています。LED 照明や装花でアレンジも可能なこの柱を中心にアイアンフェンスで会場を仕切り、ウェルカムドリンクをご提供したり、ソファでくつろげる空間にしたり、新郎新婦の思い思いのおもてなしの場として演出できるのも「花の間」の魅力。晴れの日のお二人とゲストの喜びをずっと見守り続けてきた福柱です。

■VOL. 44　調理油を石けんにする、エコなリサイクル

21 世紀のエコロジカル・クリーン・ホテルを目指し、1991 年に廃棄物指導委員会を発足させたのを皮切りにさまざまな取組みを重ねてきた京王プラザホテル。

なかでも調理場で使用した廃食用油の分別と再利用は 1992 年からいち早く着手したエコロジー活動です。これは植物性の油（廃食用油）を専門業者によって回収し、脱水・濾過ののちに化粧品原料となる高純度の脂肪酸に再生してリサイクル石けんに生まれ変わらせるもの。2009 年からは肌にもやさしいグレードの水石けんに精製し、ホテルバックヤードの一部の手洗い場で使用しています。

流せば水質汚染に、燃やせば二酸化炭素の発生につながる廃食用油。その有効活用は廃棄物の減量を実現するとともに、バックヤード内での安定した循環リサイクルを実現しています。

本件に関するお問合せ先　：
株式会社京王プラザホテル 営業戦略室　企画広報 斎藤 潤子 ・小田 力・熱田 有紀
〒160－8330 東京都新宿区西新宿２－２－１ www.keioplaza.co.jp
Ｔｅｌ　０３－５３２２－８０１０　Ｆａｘ　０３－３３４６－２４７９